

〔第174回明専塾（ミネベアミツミ株）〕

時代を支える精密技術

工学府工学専攻電気エネルギー工学コースM1 滝川 壘



はじめに

令和元年5月24日に戸畑キャンパス中村記念館において第174回明専塾が開催され、私は就職活動に向けての企業研究として参加させていただきました。

私は学部、修士ともに電気電子工学を専攻しており、自動車、鉄鋼、電機、部品など様々な業界がある中で、現段階では自分がどの業界で働きたいのか明確に定まっておられません。そのような自分だからこそ今回の明専塾への参加は非常に有意義なものになりました。

講演会

今回の明専塾はミネベアミツミ株

より、菊池秀武先輩（情子H14卒）、木須健太先輩（情機H24卒）、江口遼先輩（電シH27卒）、村上善則先輩（電シH13卒）の4名のOBの方にご講演いただきました。講演を聞いて、ミネベアミツミでは超精密機械加工技術とエレクトロニクス技術を融合した「エレクトロメカニクスソリューションズ」で精密部品以外にも、モーターやセンサー、半



講演会の様子

導体、無線技術など、幅広い先端技術を組み合わせ、人々の生活になくてはならない幅広い分野の製品を提供することで現在のIOT社会を支えているということがわかりました。精密部品を作るには、材料、システム、通信等の様々な技術と知識が必要であり、進歩し続ける技術に対して、常に新しいことに挑戦できる人材を企業は求めているということを感じました。また、個々の技術だけでなく様々な分野の技術者と連携するためには、コミュニケーション能力も技術者にとって重要であることがわかりました。

講演では就職活動をするにあたって必要になることや学生時代に何をやっておくべきかなど、企業のこと以外の話も聴かせていただきました。

懇親会

講演会後に行われた懇親会ではご講演いただいた社員の方と多くの学生とで行われました。実際に企業の方とお話できる貴重な機会であり、講演では聞くことができなかつた話も聞くことができるので今後就活を控えている学生もそうでない学生も是非参加してこのような機会を活用



懇親会の様子

していただきたいと思えます。

何を思い入社したのか、実際に働いてみて感じたこと、社会人になつて苦労したことなど、普段聞くことのできないことも話していただけるので非常に参考になりました。

おわりに

最後になりましたが、この場をお借りして、今回ご協力いただきましたミネベアミツミ株の皆様、キャリアアセンダー、明専会の皆様にご心より御礼申し上げます。

（令和元年6月記）